

地形・地質

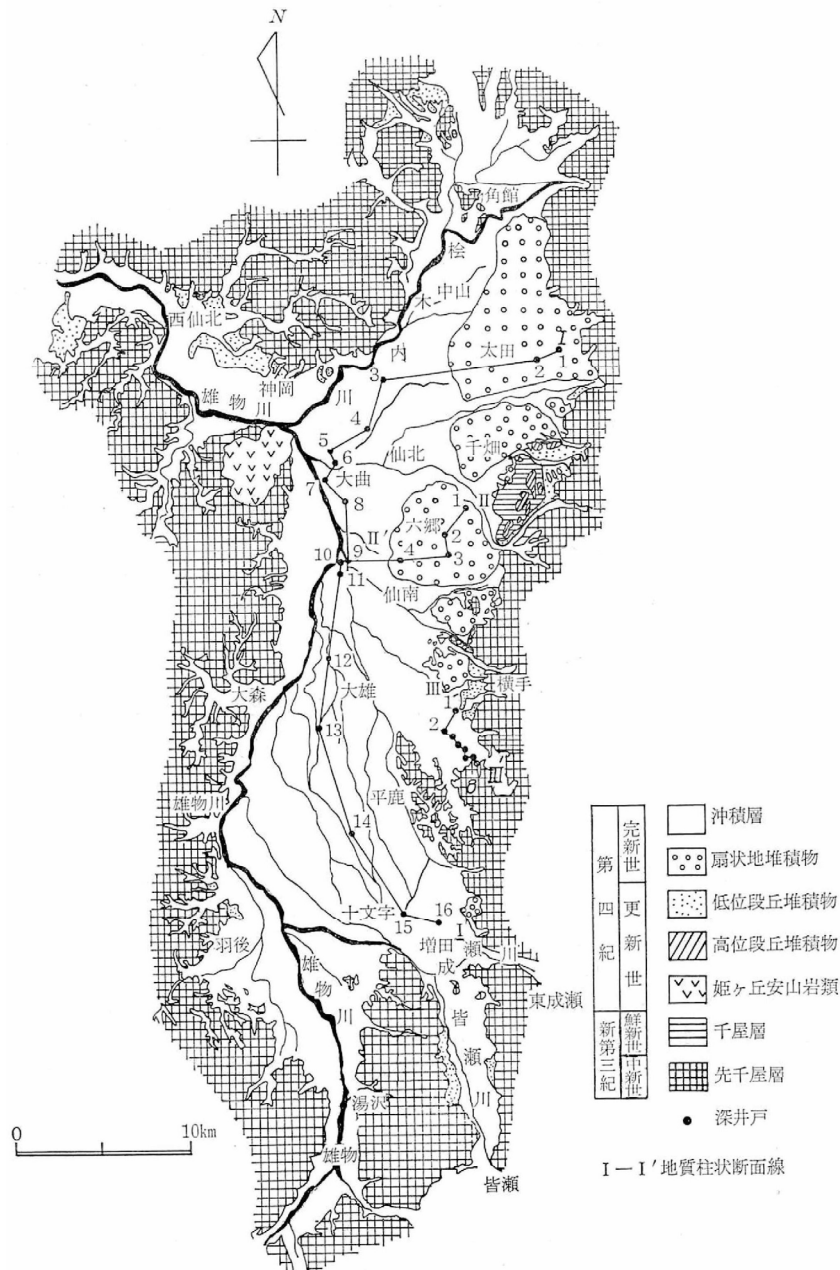
横手盆地は、秋田県の南東部に位置する南北約 60km、東西の最大幅約 15km の長方形の盆地で、盆地の西側を雄物川の中流部が北流しています。東の奥羽山脈から流れる各河川はそれぞれ扇状地を形成し、盆地の地下は礫層を主とした扇状地性堆積物によって埋積されています。

横手盆地の層序および対比表

地質時代 \ 地域		大曲 図幅	浅舞 図幅	六郷 図幅	横手 図幅
		完新世	沖積層	沖積層	沖積層
更新世		段丘礫層 姫ヶ丘安山岩類		段丘礫層	
鮮新世	鮎川期			千屋層	
	脇本期				
中新世	天徳寺期			上川原層	
	船川期	船川層	船川層	弥勤層{荒川安山岩	相野々層
	女川期	女川層	女川層	吉沢川層	山内層
	西黒沢期		須郷田層		小繫沢層
	台島期		畑村層 飯沢層	真昼川層	真昼川層
白亜紀			神室山花崗岩類		

地下水

横手盆地は従来から伏流水や浅層の不圧地下水に恵まれています。深層の地下水は、新第三紀層が泥岩系統で透水性が悪いことや、石油に由来する天然ガスを伴い地下水が汚染されているため、利用は少ないです。



横手盆地の地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）